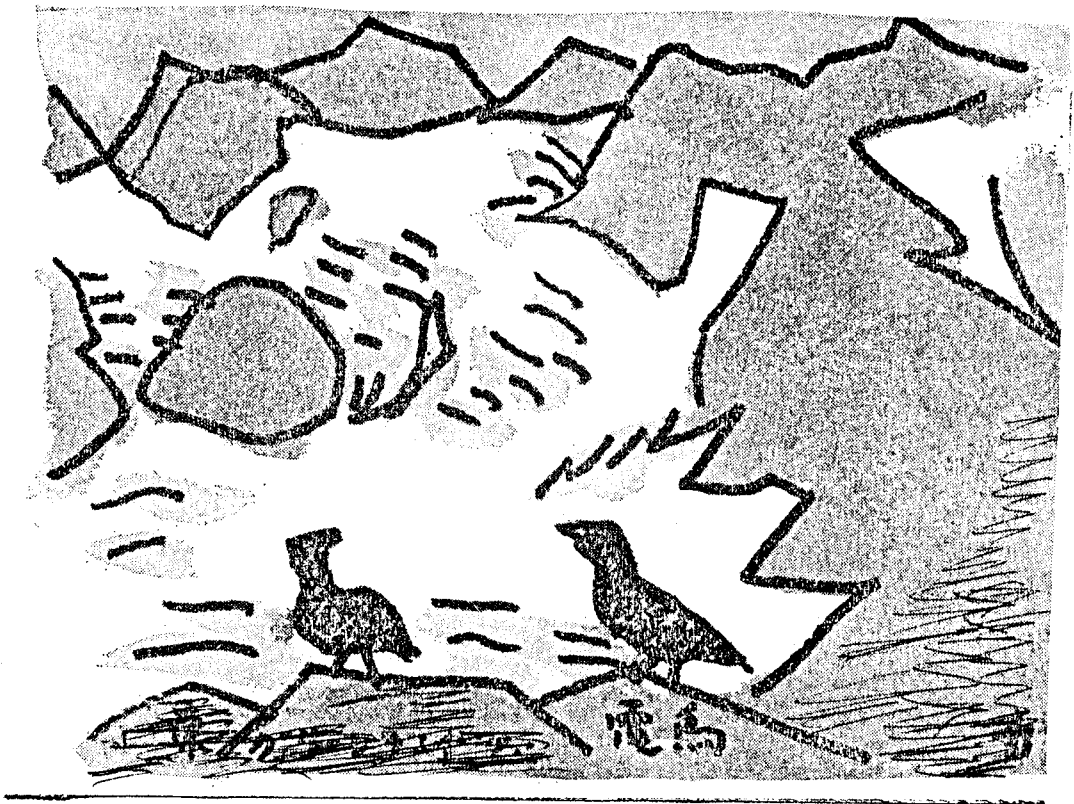


こぶし

1979・NO.26

上越市本町1入村方
上越こぶし山の会



岳人の歌

星がふるあのコールグリーストドで

あの人は来るかしら

花をくわえて

アルプスの恋歌心ときめくよ

なつかしの岳人やまし彼の君

白樺にもたれるはいとしエ女か

黒百合の花を

胸に抱いて

アルプスの黒百合心ときめくよ

なつかしの岳人やまし彼の君

ハイキングについて

ハイフ部長
古木博明

6月9日～10日の両日を使って、尾瀬沼に行つて来ました。気がついた事をいくつか挙げてみたいと思います。

①出発が8日の夜で皆んなあまり良く眠れなかつたようだ。疲れが9日に出て来たようだ。

②3名(参加者)だったので、人数が悪くなつた。(テントの問題)夏テントがほしい。

③ハイキング(にしては)費用がかりすぎた。(10,100円)山のハイキングも食事が楽しみなのである。人間によっては、それが最大の楽しみになっている人も居る様だが、食事の内容も少し考え直さなければならぬ。

④ハイキングを成功させるには、全員が協力してやらなければならぬ。1人がサボっていると場がしらけてしまう。

次回がカッパロウ!

10月の日程 おしらせ

① 妙高清掃登山 — 10月14日(日)

② 黄金清水 ~ 長助池 } アイヒも各1名予定
③ 天狗堂 ~ 頂上 } 2,000 燕温泉苑

④ 県登山祭典 — 10月20(土) ~ 21日(日)

五頭連峰 会員以外にも呼びかけて参加しよう。

⑤ 総会の期日 決まる — 10月29日(月)

PM 6:30 ~ 高陽会館

— 1 —



★ 清掃登山 ★

☆ 6/30 ~ 7/1
 ☆ 田中・古木
 宮腰・入村
 八木・青柳



☆ コース
 燕 → 天狗平 → 山頂

PM 10:00 に集合し 燕温泉に着いたのは 11:30 頃... すでに山南きの儀式が始まり、数多くの登山者が祭壇の前に並んでいた。昼より降り続いた雨も夜になって止み、星が 2、3 才たさ、我らの前途を示すかのようである。

7月1日 AM 0:00 すぎ いざ出発！ 御神酒と「おこんぶ」をいただき体調・精神とも最良!! (アハハ) 無事山頂にたどりつけることを祈り1分2歩と歩み始めた。山南き登山右左の後になり前になり真中になりながら、真暗な窟の中を懐中電燈の照らさず明かりをたよりに、かむららに登っていく。夜のたぬ今どこにいるのか、まわりの状況がどんたか、またくわからずととも不安で、前の人の踏みとたけがたよりたった。

天狗平で木休止、まづど誰とたわけのわからぬ中ずへうちよりと腹をあらじ、おたぎりにぱくつた。(オエッカタ〜)

こうして登ほり、あたりが白み始めたころ、ぱらぱらと雨が降り出し、この後も降ったり止んだりおちつかぬ天気たった。あたりもガスで景色がまたくみえず、少々つまるめ登りたった。あとわすかたで山頂という頃、雨粒が大きくなりはじめ、勢も速くたってきた。ハッベッ〜!!!

5:05. ちやく山頂到着!! ヤッター!! “バンガーイ”... ワーイワーイと満足感にたったのもいつかの間、とにもかくにも雨と風をしのぐ場所を確保しよう、山頂のあたりをうろうろ、いつきよく、先着者に良い場所をとらぬ。

ひ、こらは、とガックと落ちたのが分岐点となる道のまん中。
瞬をおちつけろ さア 朝御飯。「いただきますーす。」
この間、雨あしはいろいろ激しくなり、冷えも強くなってき
ぽこぽこの上で傘をさせばから歯をかかかか いれせばから
しみ込んでくる雨水にじ〜っと耐えながら もくもくと
おにぎりをはおぼった。この際さの中、田中さんが
つくってくれたコーヒー、雨水入のみそ汁、温かくてと
つてもおいしかった。体のしんがほっとあったまったかん
じで、本当においしかった。(ごちそうさまでしっぽ〜。)

6:00 山頂出発!! 予定を変更し、今登ってきたコースをまどろ
こにたり、いっしょに登ってきた、山崎登山者達と別れて、ゴ
ミひろいを行いながら下ってきた。ゴミはどこどこにかた
めてあったり、木々の枝みに投げ捨てあったり、思ってたほ
ど多くはなかったものの、けしんがないとは言えない。特
に、休止場所となる天狗平、川原などに多く捨てられて
いた。又、道よりちおとははれた場にポイッと捨てられて
捨てるのにも大変だった。ゴミ拾いを家施設、登山者の
無責任さ。又、自然破壊(しじお-バはいい方だが)をしらめ
まにしていることを認識してほしと強く感じた。"ゴミを持
ち帰りまじおう!!"と地元の人達が いっしょうけんめい叫んで
努力しても結局水のあめ...。みんなぞ、声をかけあって
ゴミを持ち帰りまじおう。きれいな自然、いつまでもいつ
までも大切に...

下山中、ずーっと雨に降られはなし。もう全身びしょ
びしょ。もう、全身"水もこたえる。いい...!!"にな
ってしまった!! But、この雨の原因は、なんだろう...
?? (深く追求めるのはセキにします。いろいろとありまじ...?)
雨にあたらはけはなしのこの山行、雨に慣れ親し
むということでは、大変(?) 良かったのぢはないかと今
思うのです。そのあと2の温泉、おかつたマ、体のし
んぞどホカホカ...ホーっとひときい。おつかいさまでした。
杉本さん、上石さん、お迎え御苦様でした ナーヤッてェ!!
おじい。

夏山合宿 裏銀座珍道中

8月11日～15日
鳥帽子～雲ノ平～新穂

※ さあ今日は、いよいよ出発だ。無事に帰って来れるかどうかが不安で仕方ない。会社から帰り急いで持ってきた物を点検し少し眠る。9:30 宮崎さんにひろってもらい眠い目をこすりながら高田駅へ向かう。大島さんがわさわさ駅まで見送りに来てくれた。私は荷物太重くて仕方ないのでおにぎりを2つ大島さんにおしつけてしまった。なにしろ母につくってもらったおにぎりをとりも持ってきたのだから。10:12 全員そろって出発。車の中で眠ろうと思ってもなかなか眠れず 葛温泉に到着。シャワーをおして道路のはしに眠る。

8/12 AM
5:00. 人のさわめさを感じながら目をさます。なにしろ眠っている私達の脇を人か通っているのだから仕方ない。朝食をあませ、全員そろって使用前の写真を撮る。5:00AM 不安とたたかいながらヘルメットをかぶり出発。荷物はトラックで高瀬ダムまで運んでもらう。出来る事なら今日の目的地まで運んでもらいたかったのだが? 鈴木さんかさかんに曲裾美豊かな長い足を出してウォーミングアップをしている。8:00AM. ようやくダムに到着。途中人に聞かされた誤解を小どきな恐ろしい話をしていた。(完全殺人計画R.H.1) ここで荷物を分装し、8:40AM 車ハリュックサックを背負って鳥帽子小屋を目標していざ出発。しかし、あまりの重さに かわい肩の骨がさしみ 2, 3歩歩いてよろけてしまう。話には聞いていたがさあかに登りはきつい。先頭にたった天尾さんのペースが早くてはがなかついて行けな。しかし、上石さんは天尾さんにヒタリとついて行く。(負けそう) とにかくマイペースで休まずゆっくり歩くことにした。1時間に10分の休憩というペースで進んだ。

2:00PM. 鳥淵子小屋到着. あまりのうかしさに今までの疲れはどこかへ行ってしまう。急いでテントを張り、夕食の準備にかかる。今日の献立は「うどんずき」である。持って来た野菜が少し悪くなり、おかしな味水した。野菜はすべてもう一度洗い直して作り直す。おびしい夕食に悩んでしまった。テントの中でいろいろとみんなでお酒を飲んだ。宮腰さんのオンステージはとてもうけていた。20:00PM. さあ降りるという時に雷雨におどられる。テントがしみみ水が入って来る。とんだハマニングである。なんとしはや前途多難である。

※ 2:30AM起床. 天尾さんだけはよく眠れた様である。私は雷以上にすごい「いびき」に悩まされてなかなか眠れなかった。朝の献立は… 納豆・みど汁・つけもの・ぶりかけ etc
とららかというと天尾さん好みである。テントをたたんで5:30AM出発。昨日とは違って変わったの晴天である。6:30AM三ッ岳到着。はるがかなたに槍が見える。昨日の急な登りに比べると今日は楽である。あいかかわらず天尾さんの早いペースは続く。8:45AM. 野口五郎小屋に到着。ここで水を補給し、9:15AM出発。上石さんの希望で頂上まで行く。9:30AM到着。さすかに頂上は悪い。セーターなしではいられない。12:50AM木詣小屋到着。ここで30分の休憩。なんとなくみんなぐったりしている。宮腰さんは気持ちよさそうに眠っている。見わたす限り山と空しか見えない景色が広がっている。出発前の不安がだんだんとうすんで大きな喜びと自信に変わって行くのを感じた。1:30PM 夢とあこがれとロマンズの雲の平に向かって出発。3:40PM やつこの思いで到着。足が棒の様にというよりも大根のようになってしまった(ワァー 恐ろしい) 二水があの夢とあこがれとロマンズの雲の平かと思いと… 想像していたほどでなくがっかりした。とくに 上石さんは 絶望した様である。さかんに宮腰さんに文句を言っている。とにかくテントを張り、

夕食の準備にかける。今晚のメニューは、とん汁と野菜炒めが、ついでのものである。とん汁はとてまあしく出来た。9:00 PM. テントの中から見た星空はとて美しくかった。ほうきを持って手をのばせば星に手がととまるとりだった。

8/4. 3:00AM起床 昨日は2時間位しか眠らず 体調が悪い。
5:30AM テントに鈴木さんを残して小屋まで散歩に行く。昨日とは違って変わって素晴らしい庭園が目の前に見えて来る。みんな口々に「雲の身はよい新た」などと勝手な事を言っている。(上石さんも)なんとむはや現金なものである。(ここを天尾さんの新婚旅行コースに決定いたしました。) 少し肥満気味の野鳥を見る。慣れているのか近くへよって逃げない。
7:30AM 出発。今日は鈴木さんが先頭だ。睡眠不足のせいか呼吸が荒く体がついて行かない。10:50AM 三俣山荘到着。ここの山荘はシャボでいて食堂と喫茶店と診療所がある。三ツ岳から遠くに見えた槍が今日の前に見える。12:30AM 三俣連華岳に到着。ここから後はずっと下りが続く。途中落雪を一口はおぼり山へ来たという奥感を味わう。(たまたまおみそ氷をおいしくりに食べていた) 14:40AM 双六川に到着。思ったより早く着いた。テントは女性軍だけの張る。男性軍は水くみである。夕食はカレーライスとかんづめである。夕食をとりながら反省会を開く。夜馬山の山岳会の人達と交流会をもつ。天尾さんは、かせ気味でテントで眠っていた。いよいよ明日は帰るかと思うと心は踊る。
10:00PM シュラフに入る。まわりのテントはまだマサさんに花火を上げたり歌を歌ったり、にきやかにやっている。

8/5 3:00AM起床。今日は宮腰さんがかせ気味で天尾さんは元気だ。二人用のテントでこの2人がどのよりに寝たかは定かではないが……？

山での最後の食事はモ子ラーメンである。割当は1人ラーメン1ケにもらけなのに、ある人はもちを2ケも食べた。簡単に食事をすませ、出発の準備をする。いつものクラクラした感じは、はくみんな行動が機敏である。上石さんと高桑さん、なかなか来ない。きっとトイレでかんぱっているのだらう。6:00 AM 全員そろって元気に出発。長いと思っただけ、たぶん山合宿も今日で終わりだ。ちょっと淋しい気持ちになったのもつかの間である。やはりうたしはかくしきくない。みんな足どりの軽い。11:15 AM 全員無事下山。山の中に4日間もいると、みんな変化がいちじるしい。特に天尾さんはヒゲがほうぼうにのびて、山の中の熊かなんたから、出発前の面影がどこにもない。手や顔がむくんでいる様な人もいた。みんな日にやけてとことなく、ぐったりしている。きっと心地よい疲山と充実感にひたっているのだらう。ココで使用後の写真を撮る。来年もこのメンバーでパーティーを租めたらいいなあと思いつつ、楽しかった思い出を胸に疲れた体をひきまわりながら、家路を急ぐ。

—— 記 竹内 ——

メンバー

CL 宮腰、天尾、鈴木、竹内、青柳、高桑、上石

新入会員歓迎会

8/25 新入会員歓迎会があった。場所は高床山の予定だったが、あいにくの雨で車中泊に変更。主役の新入会員は、たいぶとりのた。た私と、とて新入会員とは思えない竹内さんの二人。その他宮腰、清水、丸山、池田、石平、渡部、西木さんの計9人。メニューは、焼肉(マトン野菜)ビール、ウイスキー、アイス、いかの刺身、竹内さん手製のおまし(納豆、おしんこ、かっほ)野菜サラダ、おつまみで盛大にかつらんざりあるほ

白馬大衆山行に参加して

〔長谷川 正道〕

我々の期待に反して天候には、恵まれなかったがこれも、異常気象と言われる。今年の天気の数で例年ならばもう、梅雨が明けてもいい時期だと思えます

話は変わりますが 以前ラジオで、三和村で 蒸糸村民山行を行なったことを報じていましたが、その時は、ひどい雷雨でやっこのことで 山荘に着いたそうです。

しかし、私の 今までの山行を思い浮かべてもそうですが 単独行も、山と語り、山を知る上では、いいと思います。

今回の様な、状況の中では、やはり危険な気がします。

この不安と期待の中でみんな登山できたことは、参加者一人一人の思い出となって残ると思います。

私にとっても、夜小屋で、聞いた 12月の妙高登山の話や、岩登りの話などは、強く印象に残っています。

最後に、今回、仲間に入れていただき 大変うれしく思っています。

これからは、体を鍛えて、来夏は、又北アルプスへ行きたいと思えます。よろしくお願ひします。

新人会員紹介

長谷川 正道 君 (24才)

○住所：上越市中屋敷

○取場：直江津軽金属工業

TEL 24-1141



7ページより)

と食べました。新入会員歓迎会だから当然私達も歓迎してもらえるものと思ってやって来たら、と小は全くの甘い考えであった。行、たとたんさ、とく会館を取ら小てしまった。と小は名目上の歓迎会なのだろう。とてもみんな食べよ小なくて、宮腰さん、丸山さん、清水さんたちの朝飯とた(つこ?)の二日んには、たよりだった。でもとても楽しかった。

高永